

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立矢田東	学校	児童数	50
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20m シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.96	14.88	29.88	43.00	41.42	9.88	145.68	19.76	48.35
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	16.24	15.79	31.77	37.82	36.41	10.08	136.26	12.92	49.71
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

本校の課題（運営に関する計画）としては、今年度は50m走に重点をおいて取り組んだ。男女ともに5年生は、大阪市・全国平均は上回れなかった。男子・女子ともに0.3秒ほど差がついた。8種目の中でも、男子は反復横跳びのみ女子は握力のみが、大阪市・全国平均を上回った。大阪市や全国平均に近づいた種目もあるが、上回るまでには至っていない状況である。体力合計点でも、男子・女子ともに大阪市は3点、全国は4点差がついている。なかなか並ぶ・上回るところまでいかないのが現状である。質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」という項目に対しては、男女ともに肯定的回答が90%以上ある（「好き」は男子75%、女子52.5%）。「きらい」はともに0%である。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子16%、女子25%と女子がやや多い。この数値は大阪市・全国と比較しても多い。しかし420分以上になると男子は50%と、大阪市・全国平均と同じくらいの割合にはなっている。

総じて、本校の5年生は「運動やスポーツをすることは好き」ではあるが、体力テストの数値としての結果にはなかなかつながっていないといえる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

これまで、業間体育や体育の授業の工夫などを念頭に置いて取り組んできた。しかしながら、本テストの当該の5年生児童は、新型コロナウィルス感染症の影響を3年間受けてきた学年でもある。コロナ禍の影響で運動が制限されてきた中で、じわじわとそれによる影響が出てきているのかもしれない。「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問事項に、好き・やや好きと肯定的に答える児童の割合は90%以上ある。「好き」ではあるが、数値として好成績に達していないのが本校5年生の状況である。休み時間や放課後、に運動場に出ている児童は比較的多い。好きな教科を聞けば、おそらく体育と答える児童も多いと思われる（アンケートなどは取っていない）。ここから考えられることは、体を動かすことは好きであるが、それぞれの特徴的な動き＝運動につながる体の使い方、がっかりと、身についていないということが考えられる。今後は、遊びの中でアッタリ、やはり体育の授業時間の中で児童に習得していくような仕掛けや工夫が、指導者サイドに大いに必要であると考えられる。その点において課題ととらえることができる。

